



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年1月27日

上場会社名 株式会社アドバンテスト

上場取引所 東

コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 吉田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員管理本部長 (氏名) 藤田 敦司

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	300,067	35.1	81,042	75.5	81,335	88.4	60,893	66.7	60,893	66.7	70,554	101.1
2021年3月期第3四半期	222,174	7.0	46,178	△2.0	43,168	△9.6	36,518	△5.7	36,518	△5.7	35,081	△5.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	311.62	310.03
2021年3月期第3四半期	184.91	183.91

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	462,315	281,460	281,460	60.9
2021年3月期	422,641	280,369	280,369	66.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	38.00	—	80.00	118.00
2022年3月期	—	50.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	410,000	31.1	115,000	62.6	115,000	65.2	86,300	23.7	86,300	23.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
詳細は、添付P.4「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	199,542,265株	2021年3月期	199,566,770株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	7,235,373株	2021年3月期	3,132,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	195,408,739株	2021年3月期3Q	197,495,822株

(注) 期末自己株式数には、業績連動型株式報酬信託口が保有する当社株式（2022年3月期3Q：426,227株、2021年3月期：694,832株）が含まれております。また期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 10
2021年度第3四半期決算(連結)の概要	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日)の状況 (単位:億円)

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	2,207	5,013	2.3倍
売上高	2,222	3,001	35.1%
営業利益	462	810	75.5%
税引前四半期利益	432	813	88.4%
四半期利益	365	609	66.7%

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、2021年後半は新型コロナウイルスの新たな変異株の拡散、半導体などの部材供給不足の長期化、物価上昇などが経済活動の重石となりました。しかしワクチン接種が進展したことで先進国中心に社会活動の正常化が進んだことにより、総じてはコロナ禍による歴史的な景気後退からの回復を遂げました。

半導体市場においては、巣ごもり需要の継続や社会のデジタル化進展により、データセンター、AI、パソコン関連の半導体需要が堅調に推移しました。また5Gスマートフォンの性能進化や販売台数の伸びに呼応し、スマートフォン向け半導体の高機能化や需要拡大が進みました。加えて、コロナ禍からの経済回復とあいまって自動車、産業機器、民生機器向けの半導体不足が顕著となったことで、多様な半導体に対して先端技術投資や生産能力増強投資が積極的に進められました。

このような業界動向を受け、半導体試験装置に対する需要も拡大が続きました。とりわけデータセンターやスマートフォン向けのハイエンドSOC半導体の試験需要は力強く伸長し、半導体試験装置市場の成長を牽引しました。

このような環境下、当社は、強みである幅広い製品ポートフォリオとグローバル販売・サポート網を活かし、拡大する半導体試験装置需要を着実に取り込みました。一方で半導体不足が広範なサプライチェーンに影響を及ぼす中、当社の部材調達環境も過去に例の無い厳しい状況にあります。

これらの結果、受注高は5,013億円(前年同期比2.3倍)、売上高は3,001億円(同35.1%増)、営業利益は810億円(同75.5%増)、税引前四半期利益は813億円(同88.4%増)、四半期利益は609億円(同66.7%増)となりました。部材調達に制約が生じた中でも、いずれも第3四半期連結累計期間における過去最高額を更新しました。当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが111円(前年同期107円)、ユーロが131円(同122円)となりました。海外売上比率は96.1%(前年同期95.4%)です。

セグメントの業績は次のとおりです。

<半導体・部品テストシステム事業部門> (単位:億円)

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	1,540	3,883	2.5倍
売上高	1,421	2,076	46.2%
セグメント利益	411	744	81.2%

当部門では、SOC半導体用試験装置は、アプリケーション・プロセッサやHPC(ハイ・パフォーマンス・コンピューティング)デバイスなどハイエンドSOC半導体において一段の微細化や性能向上が計画されていること、半導体不足に対する供給能力拡大投資が推進されていることを背景に、受注高が大きく伸長しました。メモリ半導体用試験装置も、メモリ半導体の高性能化が継続する中で堅調に受注高を伸ばしました。一方で、急峻な受注高の伸びに追従すべく部材確保に努めたものの、半導体不足の影響下、供給リードタイムの長期化を余儀なくされました。

以上により、当部門の受注高は3,883億円（前年同期比2.5倍）、売上高は2,076億円（同46.2%増）、セグメント利益は744億円（同81.2%増）となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位：億円)

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	295	430	45.4%
売上高	301	318	5.7%
セグメント利益	48	49	3.3%

当部門では、半導体試験装置に対する顧客の旺盛な投資意欲やEUV露光技術の採用拡大を背景に、デバイス・インタフェース製品、テスト・ハンドラ、ナノテクノロジー製品の受注がそれぞれ伸長しました。販売面においては、製品ミックスが改善しました。

以上により、当部門の受注高は430億円（前年同期比45.4%増）、売上高は318億円（同5.7%増）、セグメント利益は49億円（同3.3%増）となりました。なお前年同期のセグメント利益は、一過性のプローブ・カード事業譲渡益約25億円を含んでいます。

<サービス他部門>

(単位：億円)

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	376	701	86.3%
売上高	505	607	20.0%
セグメント利益	81	125	54.3%

当部門では、堅調なデータセンター投資やスマートフォン高性能化を背景に、システムレベルテスト製品の需要が大幅に伸長しました。また当社製品の設置台数が拡大する中、保守サービスの需要も高水準に推移しました。

以上により、当部門の受注高は701億円（前年同期比86.3%増）、売上高は607億円（同20.0%増）、セグメント利益は125億円（同54.3%増）となりました。

(2) 財政状態の概況

当第3四半期末の総資産は、現金および現金同等物が275億円減少したものの、のれんおよび無形資産が261億円、棚卸資産が215億円、主に投資有価証券の増加によりその他の金融資産が57億円、営業債権およびその他の債権が53億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比397億円増加の4,623億円となりました。負債合計は、短期借入金が287億円、未払法人所得税が83億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比386億円増加の1,809億円となりました。また、資本合計は2,815億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比5.4ポイント減少の60.9%となりました。これは主に、自己株式が430億円、短期借入金が287億円それぞれ増加したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より275億円減少し、1,217億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益813億円を計上したことに加え、棚卸資産の増加（△201億円）、法人所得税の支払額（△143億円）に減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、563億円の収入（前年同期は、284億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、412億円の支出（前年同期は、130億円の支出）となりました。これは主に、子会社の取得による支出（△290億円）と有形固定資産の取得による支出（△118億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、437億円の支出（前年同期は、301億円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出（△458億円）によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の当社を取り巻く市場環境を展望しますと、2021年5月に公表した第2期中期経営計画で示した通り、データ処理量や通信量の増加に伴う半導体需要の更なる拡大、半導体の高機能化、半導体に対する社会的な信頼性要求の高まりなどの要因のもと、半導体テスト需要の継続的な拡大を当社は見込んでいます。またメタバースなどのデジタル革命を体現するアプリケーションへの期待やカーボンニュートラル対応を背景に、エネルギー効率改善を実現する技術の重要度も増えています。これらを総合すれば、短期的にも中長期的にも、半導体およびその関連市場の良好な環境が期待され、半導体試験装置市場においても2022年の更なる成長を予想しています。

これら市場見通しおよび第3四半期連結累計期間の業績進捗を踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想を以下のとおりに修正します。受注高は2021年10月時点の5,650億円から6,500億円へ、売上高は4,000億円から4,100億円へ、営業利益、税引前利益は各々1,050億円から1,150億円へ、当期利益は788億円から863億円へ、それぞれ上方修正します。当年度第4四半期の業績予想の前提とした為替レートは、米ドルが115円、ユーロが130円です。

新型コロナウイルス感染症の影響については、人的移動制限や物流逼迫などによる事業上の制約が継続していますが、当第3四半期連結累計期間の業績に対する影響は軽微なものに留まったと認識しています。

しかしながら、変異株拡大、半導体不足の長期化、地政学的リスク、自然災害リスクなど、世界経済や当社の事業環境の不確実性は依然高い状態にあります。目下の優先課題である部材調達の早急な安定化をはじめ、外部環境の変化に機動的に対応し、第2期中期経営計画で掲げた計数目標の達成と各戦略施策の推進に努めてまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	149,164	121,713
営業債権およびその他の債権	57,028	62,306
棚卸資産	64,340	85,827
その他の流動資産	8,563	12,260
(小計)	279,095	282,106
売却目的で保有する資産	—	188
流動資産合計	279,095	282,294
非流動資産		
有形固定資産	41,613	46,867
使用権資産	11,668	10,921
のれんおよび無形資産	54,543	80,664
その他の金融資産	10,211	15,953
繰延税金資産	25,242	25,226
その他の非流動資産	269	390
非流動資産合計	143,546	180,021
資産合計	422,641	462,315
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	58,558	56,800
短期借入金	—	28,738
未払法人所得税	8,619	16,968
引当金	4,058	6,164
リース負債	2,486	2,668
その他の金融負債	3,509	6,889
その他の流動負債	12,581	19,444
流動負債合計	89,811	137,671
非流動負債		
リース負債	9,364	8,460
退職給付に係る負債	36,891	28,787
繰延税金負債	4,473	4,187
その他の非流動負債	1,733	1,750
非流動負債合計	52,461	43,184
負債合計	142,272	180,855
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,573	44,530
自己株式	△15,001	△58,025
利益剰余金	214,858	249,424
その他の資本の構成要素	3,576	13,168
親会社の所有者に帰属する持分合計	280,369	281,460
資本合計	280,369	281,460
負債および資本合計	422,641	462,315

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	222,174	300,067
売上原価	△102,364	△130,463
売上総利益	119,810	169,604
販売費および一般管理費	△76,253	△88,471
その他の収益	2,736	516
その他の費用	△115	△607
営業利益	46,178	81,042
金融収益	858	422
金融費用	△3,868	△129
税引前四半期利益	43,168	81,335
法人所得税費用	△6,650	△20,442
四半期利益	36,518	60,893
四半期利益の帰属 親会社の所有者	36,518	60,893
1株当たり四半期利益		
基本的	184.91円	311.62円
希薄化後	183.91円	310.03円

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上高	78,072	112,077
売上原価	△37,888	△47,226
売上総利益	40,184	64,851
販売費および一般管理費	△25,000	△31,400
その他の収益	90	172
その他の費用	△33	△57
営業利益	15,241	33,566
金融収益	781	565
金融費用	△2,174	△56
税引前四半期利益	13,848	34,075
法人所得税費用	△1,821	△8,428
四半期利益	12,027	25,647
四半期利益の帰属 親会社の所有者	12,027	25,647
1株当たり四半期利益		
基本的	61.29円	132.50円
希薄化後	60.97円	131.91円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	36,518	60,893
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	664	5,347
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,101	4,314
税引後その他の包括利益	△1,437	9,661
四半期包括利益	35,081	70,554
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	35,081	70,554

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	12,027	25,647
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	997	3,362
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△674	3,473
税引後その他の包括利益	323	6,835
四半期包括利益	12,350	32,482
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	12,350	32,482

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2020年4月1日 残高	32,363	43,550	△4,179	159,803	△85	231,452	231,452
四半期利益				36,518		36,518	36,518
その他の包括利益					△1,437	△1,437	△1,437
四半期包括利益	—	—	—	36,518	△1,437	35,081	35,081
自己株式の取得		△47	△13,947			△13,994	△13,994
自己株式の処分		△207	2,037	△867		963	963
配当金				△15,602		△15,602	△15,602
株式に基づく報酬取引		774				774	774
所有者との取引額等合計	—	520	△11,910	△16,469	—	△27,859	△27,859
2020年12月31日 残高	32,363	44,070	△16,089	179,852	△1,522	238,674	238,674

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2021年4月1日 残高	32,363	44,573	△15,001	214,858	3,576	280,369	280,369
四半期利益				60,893		60,893	60,893
その他の包括利益					9,661	9,661	9,661
四半期包括利益	—	—	—	60,893	9,661	70,554	70,554
自己株式の取得		△43	△45,711			△45,754	△45,754
自己株式の処分		△1,018	2,621	△865		738	738
自己株式の消却			66	△66		—	—
配当金				△25,470		△25,470	△25,470
株式に基づく報酬取引		1,018				1,018	1,018
その他				5		5	5
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				69	△69	—	—
所有者との取引額等合計	—	△43	△43,024	△26,327	△69	△69,463	△69,463
2021年12月31日 残高	32,363	44,530	△58,025	249,424	13,168	281,460	281,460

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	43,168	81,335
減価償却費および償却費	8,470	10,879
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	△7,872	△2,093
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,763	△20,060
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△5,115	△2,260
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	156	2,087
預り金の増減額 (△は減少)	2,144	1,851
前受金の増減額 (△は減少)	1,099	6,413
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,201	△8,388
その他	△166	874
小計	37,322	70,638
利息および配当金の受取額	128	53
利息の支払額	△136	△102
法人所得税の支払額	△8,879	△14,293
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	28,435	56,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の売却による収入	—	920
資本性金融商品の取得による支出	△6,817	△881
負債性金融商品の売却による収入	—	404
有形固定資産の取得による支出	△8,818	△11,801
無形資産の取得による支出	△571	△767
事業譲渡による収入	3,295	—
子会社の取得による支出	△156	△28,991
その他	60	△132
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△13,007	△41,248
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	28,468
自己株式の処分による収入	989	726
自己株式の取得による支出	△14,022	△45,779
配当金の支払額	△15,392	△25,260
リース負債の返済による支出	△1,697	△1,897
その他	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△30,122	△43,742
現金および現金同等物に係る換算差額	△1,515	1,243
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△16,209	△27,451
現金および現金同等物の期首残高	127,703	149,164
現金および現金同等物の四半期末残高	111,494	121,713

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	141,531	30,110	50,533	—	222,174
セグメント間の売上高	520	—	—	△520	—
合計	142,051	30,110	50,533	△520	222,174
セグメント利益 (調整前営業利益)	41,069	4,773	8,095	△6,740	47,197
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△1,019
営業利益	—	—	—	—	46,178
金融収益	—	—	—	—	858
金融費用	—	—	—	—	△3,868
税引前四半期利益	—	—	—	—	43,168

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	207,564	31,840	60,663	—	300,067
セグメント間の売上高	66	—	—	△66	—
合計	207,630	31,840	60,663	△66	300,067
セグメント利益 (調整前営業利益)	74,402	4,930	12,493	△9,576	82,249
(調整) 株式報酬費用	—	—	—	—	△1,207
営業利益	—	—	—	—	81,042
金融収益	—	—	—	—	422
金融費用	—	—	—	—	△129
税引前四半期利益	—	—	—	—	81,335

前第3四半期連結会計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	52,032	9,729	16,311	—	78,072
セグメント間の売上高	186	—	—	△186	—
合計	52,218	9,729	16,311	△186	78,072
セグメント利益(調整前営業利益)	16,257	1,126	1,130	△2,856	15,657
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△416
営業利益	—	—	—	—	15,241
金融収益	—	—	—	—	781
金融費用	—	—	—	—	△2,174
税引前四半期利益	—	—	—	—	13,848

当第3四半期連結会計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	80,252	10,896	20,929	—	112,077
セグメント間の売上高	18	—	—	△18	—
合計	80,270	10,896	20,929	△18	112,077
セグメント利益(調整前営業利益)	30,806	1,933	4,795	△3,514	34,020
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△454
営業利益	—	—	—	—	33,566
金融収益	—	—	—	—	565
金融費用	—	—	—	—	△56
税引前四半期利益	—	—	—	—	34,075

- (注) 1. 当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 株式報酬費用は、ストック・オプション、業績連動型株式報酬および譲渡制限付株式報酬の費用であります。
3. 報告セグメントの利益は、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。
4. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
5. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
6. 前第3四半期連結累計期間におけるメカトロニクス関連事業のセグメント利益には、2020年7月30日にプロード・カード事業を譲渡したことによる事業譲渡益2,451百万円が含まれています。

2021年度第3四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2020年度 実績	2021年度実績						2021年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	3,306	1,612	2,038	1,363	33.1%	5,013	2.3倍	(5,650)	96.6%
受注残	1,088	1,729	2,858	3,125	9.3%	3,125	3.5倍	(2,738)	3.2倍

(注)1. 上段()の数値は、2021年10月28日発表時の予想であります。

2. 米国R&D Altanova Inc.の買収に伴い、2021年度3Qで受注残を24億円調整しております。

2. 損益

(単位:億円)

	2020年度 実績	2021年度実績						2021年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	3,128	971	909	1,121	23.3%	3,001	35.1%	(4,000)	31.1%
売上原価	1,445	424	408	473	15.6%	1,305	27.5%	-	-
販売費および一般管理費	1,059	282	289	314	9.0%	885	16.0%	-	-
その他の収益・費用	83	4	2	1	20.1%	1	-	-	-
営業利益 (売上高比率)	707 (22.6%)	261 (26.9%)	214 (23.5%)	335 (29.9%)	57.2%	810 (27.0%)	75.5%	(1,050) (28.0%)	62.6%
金融収益・金融費用	11	4	2	5	3.0倍	3	-	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	696 (22.3%)	257 (26.5%)	216 (23.7%)	340 (30.4%)	58.3%	813 (27.1%)	88.4%	(1,050) (28.0%)	65.2%
法人所得税費用	2	64	57	83	50.0%	204	3.1倍	-	-
当期利益 (売上高比率)	698 (22.3%)	193 (19.9%)	159 (17.5%)	257 (22.9%)	61.3%	609 (20.3%)	66.7%	(788) (21.0%)	23.7%

(注)上段()の数値は、2021年10月28日発表時の予想であります。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2020年度 実績	2021年度実績			
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
総資産	4,226	4,282	4,350	4,623	6.3%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	2,804	2,850	2,861	2,815	1.6%
親会社所有者帰属持分比率	66.3%	66.6%	65.8%	60.9%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2020年度実績			2021年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	38.00	80.00	118.00	50.00	未定	未定

(注)現時点では2021年度の期末配当については未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。